WAP121およびWAP321アクセスポイントでのクライアントQuality Of Service(QoS)アソシエーション設定

目的

クライアントのQuality Of Service(QoS)アソシエーションは、ネットワークに接続されたワイヤレスクライアントを制御するために使用され、クライアントが使用できる帯域幅を管理できます。クライアントQoSアソシエーション(SA)では、アクセスコントロールリスト(ACL)を使用して、HTTPトラフィックや特定のサブネットからのトラフィックを制御することもできます。 ACLは、許可および拒否の条件を集めたルールで、セキュリティを提供し、不正なユーザをブロックし、許可されたユーザが特定のリソースにアクセスできるようにします。ACLは、ネットワークリソースに到達しようとする正当でない試みをブロックできます。

このドキュメントでは、WAP121およびWAP321アクセスポイントでクライアントQoSアソシエーション(SA)を設定する方法について説明します。

該当するデバイス

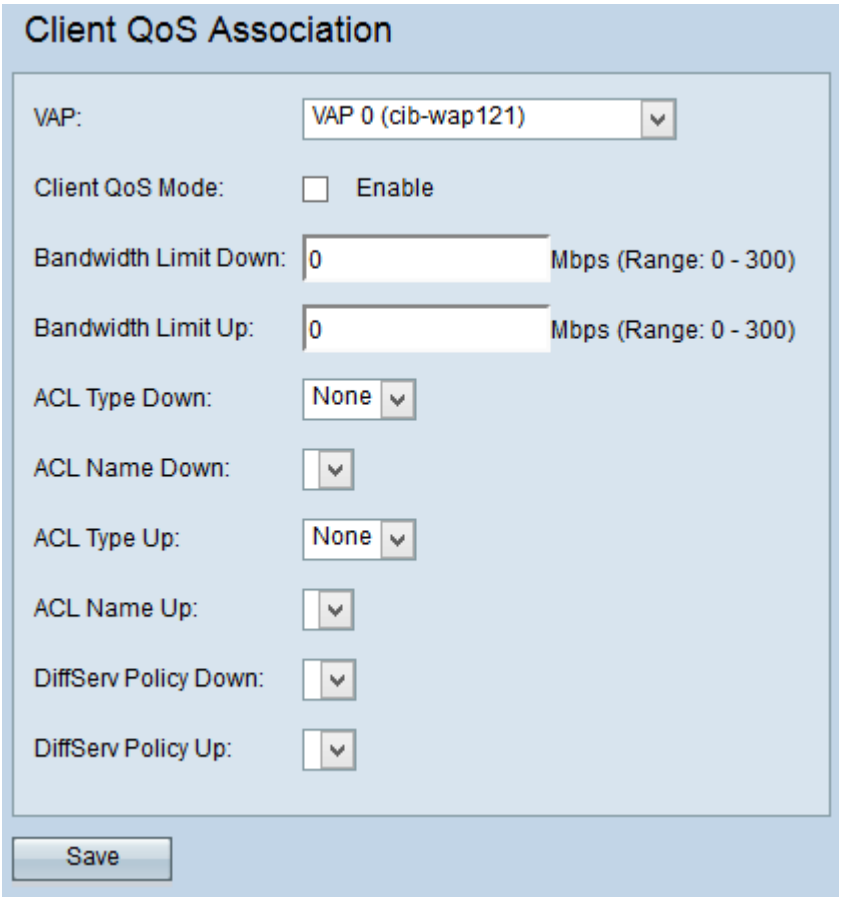
- WAP121
- WAP321

[Software Version]

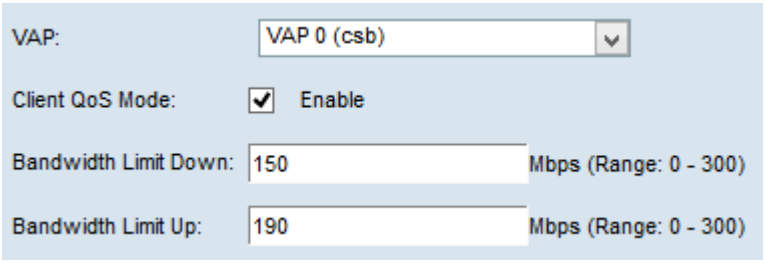
•1.0.3.4

クライアントQoSアソシエーション

ステップ1：アクセスポイント設定ユーティリティにログインし、**[Client QoS] > [Client QoS Association]を選択します。**「クライアント*QoS関連付け*」ページが開きます。



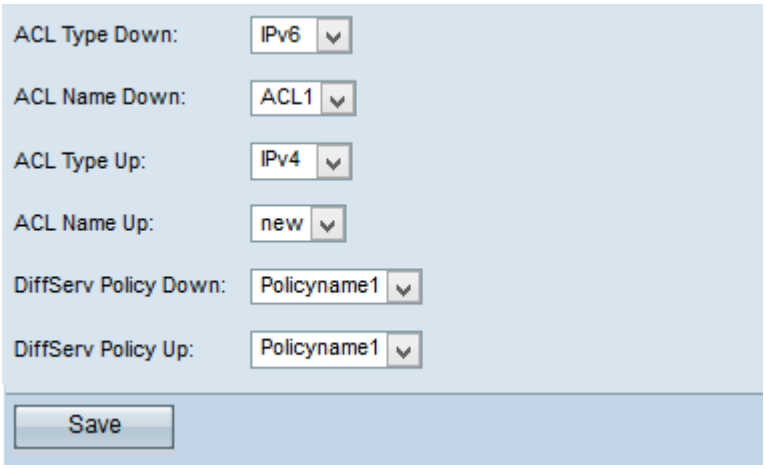
ステップ2:[VAP]ドロップダウンリストから、クライアントQoSパラメータを設定するVAPを選択します。仮想アクセスポイント(VAP)は、無線LANを複数のブロードキャストドメインにセグメント化するために使用されます。各無線には、最大16個のVAPを含めることができます。



ステップ3：クライアントQoSモードを有効にするには、[Client QoS Mode] チェックボックスをオンにします。これにより、選択したVAPのQoSサービスが有効になります。

ステップ4:[Bandwidth Limit Down]フィールドに、デバイスからクライアントへの送信が許可されるMbpsの数を入力します。

ステップ5:[Bandwidth Limit Up]フィールドに、クライアントからデバイスへの送信が許可されるMbpsの数を入力します。



ステップ6:[ACL Type Down]ドロップダウンリストから、アウトバウンドトラフィックのオプションを選択します。

- IPv4:IPv4パケットがACLルールと一致するかどうかを検査されます。
- IPv6:IPv6パケットがACLルールと一致するかどうかを検査されます。
- MAC：レイヤ2フレームがACLルールに一致するかどうかを検査されます。

注：IPv4ルールの作成方法については、『*WAP121およびWAP321アクセスポイントでのIPv4ベースアクセスコントロールリスト(ACL)のルールの作成と設定』および『IPv4の作成と設定』を参照してくださいWAP121およびWAP321アクセスポイント上のベースクラスマップ*。IPv6ルールの作成方法については、「WAP121およびWAP上のIPv6ベースアクセスコントロールリスト(ACL)のルールの作成と設定」を参照してくださいWAP321アクセスポイントおよび*WAP121およびWAP321アクセスポイントでのIPv6ベースクラスマップの作成と設定*。

ステップ7:[ACL Name Down]ドロップダウンリストから、発信トラフィックに適用するACLを選択します。

ステップ8:[ACL Type Up]ドロップダウンリストから、インバウンドトラフィックのオプションを選択します。

- IPv4:IPv4パケットがACLルールと一致するかどうかを検査されます。
- IPv6:IPv6パケットがACLルールと一致するかどうかを検査されます。
- MAC：レイヤ2フレームがACLルールに一致するかどうかを検査されます。

ステップ9:[ACL Name Up]ドロップダウンリストから、インバウンドトラフィックに適用するACLを選択します。

注：記事「*WAP121およびWAP321アクセスポイントでのIPv4ベースクラスマップの作成と設定*と*WAP121およびWAP321アクセスでのIPv6ベースクラスマップの作成と設定」を参照してくださいクラスマ*ップの詳細については、ポイントを参照してください。

ステップ10:[DiffServ Policy Down]ドロップダウンリストから、発信トラフィックに適用するポリシーマップを選択します。DiffServ(DiffServ)ポリシーは、着信トラフィックと発信トラフィックに基づいてワイヤレスクライアントを分類するために使用されます。Diffservの設定は、IPプロトコルおよびその他のパラメータに基づいてトラフィックを分類するクラスマップの設定から始まります。

ステップ11:[DiffServポリシーアップ(DiffServ Policy Up)]ドロップダウンリストから、着信トラフィックに適用するポリシーマップを選択します。

注：ポリシーマップを追加する方法については、『*WAP121およびWAP321アクセスポイントでのポリシーマップの追加*』を参照してください。

ステップ12:[**Save**]をクリックして、設定を保存します。